

科目名 周手術期看護援助論 時間割表記名 周手術期看護援助論		配当時期 2年次 単位数 1単位 時間数 30時間(16回)	講義担当者 吉竹あゆ 岩重夏海 村上あゆ美
事前学習内容 疾病論・治療論で学習した手術侵襲・麻酔侵襲とその生体反応について復習しておく。 事例で用いる疾患の病態・治療については復習して臨む。			
授業目標 1. 周手術期にある対象の身体的・精神的・社会的特徴を理解できる。 2. 術後合併症の予防について、また必要な看護を理解できる。 3. 事例を通して周手術期にある対象の看護過程の展開を学ぶ。			
DPとの関連 DP1. 看護の対象である人間を身体的・精神的・社会的・霊的に統合された生活者として理解することができる。 DP2. 一人ひとりの健康状態に応じて、最善の看護を選択し、科学的根拠に基づいた看護を実践できる。			
授業の流れ			
回	学習内容	方法	備考
1	手術を受ける患者の特徴 1. 周術期とは 2. チーム医療と看護師の役割 3. インフォームドコンセントにおける看護師の役割 4. 周手術期における危機管理 5. クリティカルパス 手術前患者の看護 1. 術前患者の特徴 2. 精神的・身体的準備	講義	テキスト①
2	手術中患者の看護 1. 入室時の看護 2. 麻酔導入時の看護 3. 術直後の看護 4. 手術室の環境管理 5. 手術室における安全管理	講義	テキスト①
3			
4	手術後患者の看護 1. 手術後患者のアセスメントに必要な知識 2. 術後合併症の発生機序と予防 3. 手術後回復を促進する看護	講義 演習	テキスト①
5			
6			
7	手術を受ける患者の看護(老年期) 【事例展開】 1. 胃がん 胃全摘術手術を受ける患者の看護(老年期)	講義 演習	テキスト①②④ ⑤
8	1) 情報の収集と整理(周手術期に必要な情報収集) 2) 事例のアセスメント①(麻酔・手術の侵襲と生体反応)		

9	3)事例のアセスメント②(手術を受ける老年期のアセスメント) 2. 看護診断と看護目標 3. 援助計画の立案	講義 演習	テキスト①②④ ⑤ * 11 回目 45 分
10			
11			
12	子宮頸がん患者(成人期):広汎性子宮全摘術を受ける患者の看護 1. 内性器の診察・検査に対する援助 2. 妊孕性温存療法と意思決定支援 3. 手術後の障害に対する援助 1)不安 2)排尿・排便障害 4. 臓器喪失感の受容への援助 5. 退院指導	講義 演習	テキスト③
13			
14			
15			
16	試験(試験 45 分)	試験(筆記)	
受講上の注意			評価方法 筆記試験 レポート
使用するテキスト ①系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論 医学書院 ②系統看護学講座 専門分野 成人看護学5 消化器 医学書院 ③系統看護学講座 専門分野 成人看護学9 女性生殖器 医学書院 ④系統看護学講座 専門分野 基礎看護学 臨床看護総論 医学書院 ⑤系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論 医学書院 参考文献			